



2021年2月1日

各位

会社名 株式会社 資生堂  
 代表者名 代表取締役 社長 兼 CEO  
 魚谷 雅彦  
 (コード番号 4911 東証第1部)  
 問合せ先 IR部長 北川 晴元  
 (TEL. 03-3572-5111)

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年11月10日に公表した通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせします。

#### 1. 2020年12月期 通期連結業績予想数値の修正(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益 または 営業損失(△)	経常利益 または 経常損失(△)	親会社株主に 帰属する当期 純利益 または 親会社株主に 帰属する当期 純損失(△)	1株当たり 当期純利益 または 1株当たり 当期純損失(△)
前回発表予想(A)	百万円 915,000	百万円 △10,000	百万円 △15,000	百万円 △30,000	円 銭 △75.10
今回修正予想(B)	920,000	15,000	9,500	△12,000	△30.04
増減額(B-A)	5,000	25,000	24,500	18,000	
増減率(%)	0.5%	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2019年12月期)	1,131,547	113,831	108,739	73,562	184.18

#### 2. 修正の理由

11月の第3四半期決算発表では、国内外での新型コロナウイルス感染症拡大の影響が不透明な中、第4四半期も市場回復の遅れが一定程度継続することや、2021年以降の事業基盤強化に向けた構造改革を前倒しで取り組むことなどから、通期連結業績予想を下方修正いたしました。

しかしながら、第4四半期では、特に日本で販売・プロモーションが好調に推移したことに加え、中国でのダブルイレブンの売上が想定を大きく上回ったほか、市場環境の急速な悪化に対し、上記構造改革に係る一時費用を吸収しながら、経費等を中心に徹底したコスト効率化を進めたことなどから、2020年12月期の通期連結業績は、11月に公表した予想を上回る見通しとなりました。このため、前回予想を上記のとおり修正いたします。

(注)上記の業績予想は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上